

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成27年5月28日(2015.5.28)

【公開番号】特開2013-222261(P2013-222261A)

【公開日】平成25年10月28日(2013.10.28)

【年通号数】公開・登録公報2013-059

【出願番号】特願2012-92198(P2012-92198)

【国際特許分類】

G 06 T 5/00 (2006.01)

H 04 N 1/407 (2006.01)

【F I】

G 06 T 5/00 1 0 0

H 04 N 1/40 1 0 1 E

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月9日(2015.4.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の階調数を有する画像データ(301)について、前記画像データにおける輝度の範囲を複数に区分して成る各区間ごとに、その区間内の輝度を有する画素の数を算出する区間画素数算出手段(7)と、

前記区間内の輝度を有する前記画素の数に基づき、前記複数の区間から区間を選択する区間選択手段(9)と、

前記区間選択手段により選択された区間内の輝度を有する前記画素の輝度を、前記第1の階調数よりも小さい第2の階調数において設定するとともに、前記区間選択手段により選択されなかった区間内の輝度を有する前記画素の輝度を最低値又は最高値とする階調設定手段(11)と、

を備え、

前記区間選択手段は、前記区間内の輝度を有する前記画素の数の、全区間の画素数に対する比率が所定の閾値以上である区間を選択することを特徴とする画像処理装置(1)。

【請求項2】

前記区間選択手段は、前記比率が前記閾値以上である区間が存在しない場合、全ての区間を選択することを特徴とする請求項1記載の画像処理装置。

【請求項3】

前記区間画素数算出手段、前記区間選択手段、及び前記階調設定手段は、前記第1の階調数を有する画像データの一部について処理を行うことを特徴とする請求項1～2のいずれか1項記載の画像処理装置。

【請求項4】

前記第1の階調数を有する画像データは、ダイナミックレンジ方式の画像データであることを特徴とする請求項1～3のいずれか1項記載の画像処理装置。